

講義コード	11C0122200	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員		開講期	
科目名	アジア経済史2／特殊講義〈アジア経済史B〉					島田 竜登		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	おもに19世紀半ばから20世紀半ばにかけてのアジア経済史を概説する。特定の地域や一国の経済史分析に偏ることなく、できる限りまんべんなくアジア各地の経済を長期的視野の下に概観することにつとめたい。また、日本との関係や世界経済との関連についても言及する。								
到達目標	19世紀半ばから20世紀半ばという長期的な視点で、アジア全般にわたる広域的観点から、現在のアジア経済を見る目を養い、多様なアジア経済の特質を歴史的に理解し、説明できるようになることを目標とする。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	授業外学修としては復習を中心に進めること。各回の授業で扱ったトピックについて、授業で紹介した参考文献を読むなど、図書館及びインターネット等で復習を行うこととし、授業外に計60時間以上の学修を行うこと。								
授業計画	【第1回】 問題の所在 【第2回】 ウェスタン・インパクトとインド 【第3回】 ウェスタン・インパクトと中国 【第4回】 農業①：小農的発展 【第5回】 農業②：プランテーション的発展 【第6回】 アジア域内貿易①：概観 【第7回】 アジア域内貿易の担い手①：中国系商人 【第8回】 アジア域内貿易の担い手②：インド系・西アジア系商人 【第9回】 金融：銀本位と金本位 【第10回】 世界恐慌とアジア経済 【第11回】 日本とアジア経済①：日本の植民地 【第12回】 日本とアジア経済②：台湾経済 【第13回】 日本とアジア経済③：朝鮮経済 【第14回】 日本とアジア経済④：「大東亜共栄圏」 【第15回】 まとめ								
成績評価の方法	期末試験（85％）および授業への取り組み姿勢（15％）で評価する。								
フィードバックの内容									
教科書									
指定図書	『アジア経済史研究入門』水島司、加藤博、久保亨、島田竜登（名古屋大学出版会）2015								
参考書									
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									